

大阪市交通バリアフリー基本構想の 重点整備地区における 特定事業等の実施状況に係る評価

【参考事例集】

目 次

1. 駅舎	1
2. 鉄道車両	16
3. 道路・交差点	20

※掲載事例は、市内重点整備地区内におけるバリアフリー化整備の一例です。

令和 5 年 6 月

1. 駅舎

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

(1) 視覚障がい者誘導用ブロック

◆車両の乗降口から公共通路までの移動動線上に視覚障がい者誘導用ブロックを敷設

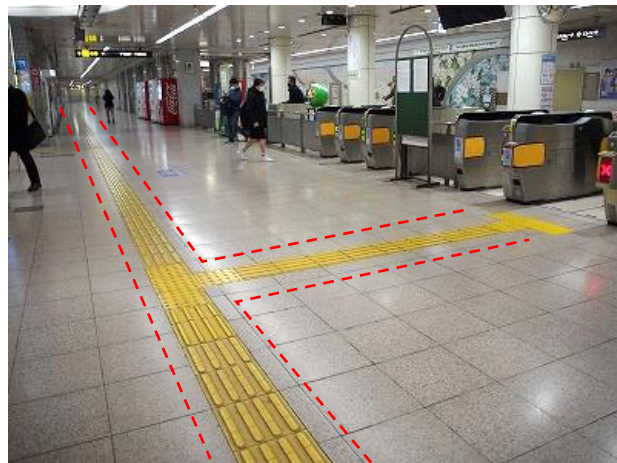
〈ホーム(車両乗降口)〉



〈コンコース(改札内)〉



〈改札出口から公共通路(改札外)〉



左上写真: 大阪梅田駅(阪急)
左中写真: 野田駅(阪神)
左下写真: 大阪梅田駅(阪神)

右上写真: 東梅田駅(大阪メトロ)
右中写真: 西梅田駅(大阪メトロ)
右下写真: 京橋駅(大阪メトロ)

1. 駅舎

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

(2) 音案内

◆視覚障がい者誘導用ブロックの敷設位置に合わせ、音案内の提供を検討

〈ホーム階段〉



例：ピヨピヨ（鳥の鳴き声を模した音響）

例：ピヨピヨ（鳥の鳴き声を模した音響）



〈エレベーター〉



例：ピン・ポーン



例：ピン・ポーン

〈トイレ〉



例：向かって右が男子トイレ
左が女子トイレです

例：向かって右が男子トイレ
左が女子トイレです



左上写真：京橋駅（京阪）
左中写真：谷町九丁目駅（大阪メトロ）
左下写真：日本橋駅（大阪メトロ）

右上写真：新今宮駅（南海）
右中写真：野田阪神駅（大阪メトロ）
右下写真：西九条駅（阪神）

1. 駅舎

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

(3) 案内・誘導

◆駅舎内での一貫した連続性のある案内・誘導

【事例1】：改札～ホーム階段〔新今宮駅（南海）〕



提供：南海電気鉄道株式会社



◆乗り換えや周辺施設等への案内

【事例2】：乗り換え〈床面・吊り下げサイン〉〔天王寺駅（大阪メトロ）、天王寺駅（JR西日本）〕

乗り換え路線情報を床面シートと吊り下げ案内で統一的な色やデザインにより表示し、わかりやすく誘導。



左写真：天王寺駅（大阪メトロ）

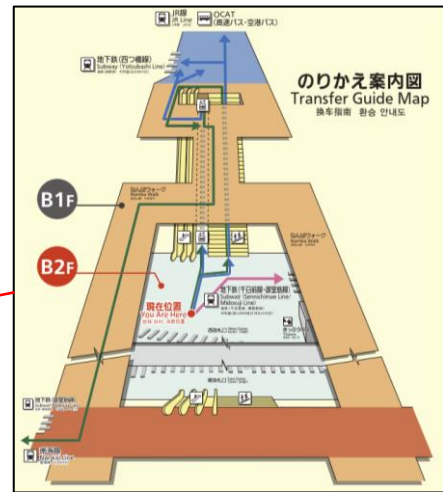


右写真：天王寺駅（JR西日本）

【事例3】：乗り換え〈案内図とフロアシートによる床面サイン〉〔大阪難波駅西改札構外（近鉄）〕

改札を出た場所に乗り換え案内図と合わせて他路線への方向を示す誘導サインをフロアシートで示すことにより、現在位置及び乗り換えルートをわかりやすく案内。

提供：近畿日本鉄道株式会社



提供：近畿日本鉄道株式会社

【事例4】：周辺施設等〔西梅田駅（大阪メトロ）〕

駅を中心として歩行圏（およそ1km四方）を表示し、バスターミナルの乗降位置や路線情報を掲載している。また、主要な都市施設の表示には、図記号を用いて番号を付し、外国語表記も加えることにより、来訪者に分かりやすい周辺施設の案内を実施。



提供：大阪市高速電気軌道株式会社

外国語表記



バス案内



◆異常時に改札付近等で掲示

【事例5】：改札付近〔天王寺駅（JR西日本）・北浜駅（大阪メトロ）〕

改札周辺や券売機付近で液晶パネル等を用いて、利用者に対する異常時の運行情報等を掲示。



左上写真：天王寺駅（JR西日本）
左下写真：天王寺駅（JR西日本）

右上写真：天王寺駅（JR西日本）
右下写真：北浜駅（大阪メトロ）

○その他

【事例6】：ホーム〈乗降位置の表示、通行帯を確保するためのホーム床面サイン〉〔新今宮駅（JR西日本）〕

ホームの中央部など安全な場所に通行スペースを設けて誘導することにより、ホーム上の流動や徒列を整理することなどの効果が期待される。



【事例7】：エレベーター〈エレベーターの案内〉〔大阪難波駅（近鉄）〕

駅施設入口付近における、エレベーターの位置及び経路をわかりやすく案内。



1. 駅舎

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

(4) 券売機

◆車いす使用者に配慮した蹴込みの構造等の検討



左写真: 東梅田駅(大阪メトロ)



右写真: 大阪阿部野橋駅(近鉄)

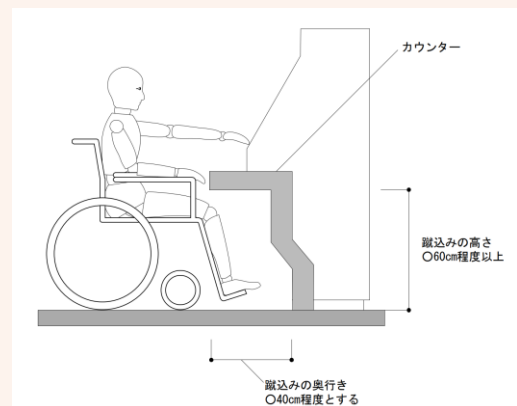
公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン

(バリアフリー整備ガイドライン 旅客施設編) 令和4年3月 国土交通省総合政策局/バリアフリー政策課

○=標準的な整備内容、◇=望ましい整備内容

<蹴込み>

- 車椅子使用者が容易に接近できるよう、カウンター下部に高さ60cm程度以上の蹴込みを設ける。
- 車椅子使用者が券売機を操作できるように、蹴込みの奥行きは40cm程度とする。



<点字運賃表>

- 線状ブロックで誘導した券売機付近には、点字運賃表を設置する。点字による表示方法はJIS T0921にあわせたものとする。
- 点字運賃表の駅名の表示順序は50音順とすることを原則とし、見出しを設ける。
- ◇点字運賃表は、可能な限り大きな文字でその内容を示すこと等によりロービジョン者が容易に運賃を把握できるようにすることが望ましい。
- ◇点字の上に文字が重ならないように配置することが望ましい。

<金銭投入口>

- 金銭投入口は、硬貨を複数枚同時に入れることができるものとする。
- ◇金銭投入口・カード投入口等は、周囲と色の明度、色相又は彩度の差(輝度コントラスト*)のある縁取りなどにより識別しやすいものとすることが望ましい。

* 移動等円滑化基準では「色の明度、色相又は彩度の差」であるが、コントラスト(誘導用ブロック等の視認性を得るための周囲との見えやすさの対比)確保のためのより有効な指標として「輝度コントラスト」の記述を行うこととした。

<テンキー>

- タッチパネル式の場合は、点字表示付きのテンキーを設置する。
- テンキーを設置した券売機には音声案内を設置する。
- ◇機器メーカーと共同して統一化を図ることが望ましい。

<障がい者割引ボタン>

- ◇障がい者割引切符がある場合には、当該割引切符を示すボタンを配置することが望ましい。タッチパネル式の場合は、点字表示付きのテンキーを設置する。

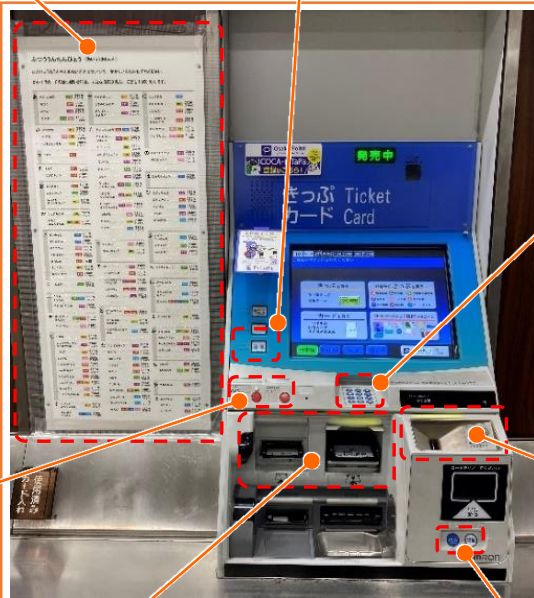
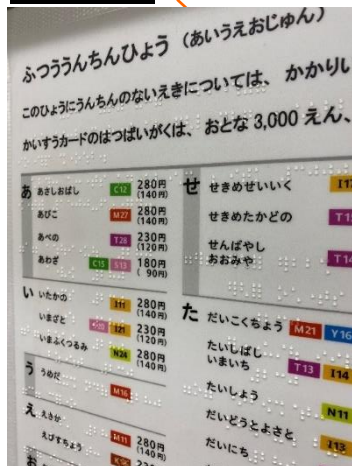
<呼出装置>

- ◇ 緊急時や故障時、問い合わせが必要な時に、駅係員に連絡できるよう、インターホン又は呼出ボタンを設けることが望ましい。
- ◇ 高齢者、障害者等が使用しやすい構造とすることが望ましい。
- ◇ 聴覚障害者等話し言葉によるコミュニケーションが困難な障害者の利用に配慮し、駅係員に連絡中である旨や駅係員が向かっている旨を表示する設備を設けることが望ましい。

◆細部の仕様を更新時期に合わせて整備に努める

障がい者割引ボタン

点字運賃表



テンキー (点字表示付き)



呼出装置



金銭投入口



カード投入口・紙幣投入口



呼出装置



<多言語表記画面：日本語・英語・中国語・韓国語>



上写真：北浜駅(大阪メトロ)

1. 駅舎

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

(5) 改札口

◆ 拡幅改札口の設置



左写真: 大阪難波駅(近鉄)



右写真: 大阪駅(JR西日本)

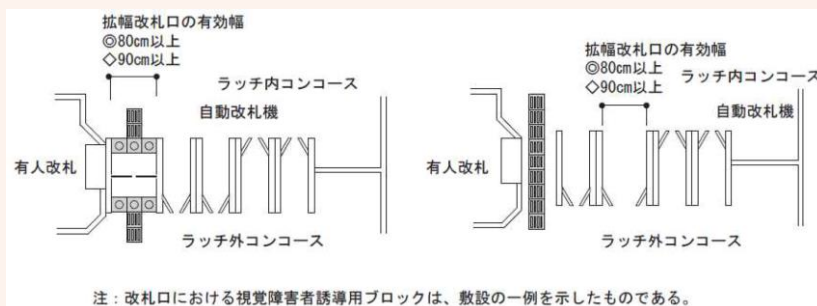
公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン

(バリアフリー整備ガイドライン 旅客施設編) 令和4年3月 国土交通省総合政策局/バリアフリー政策課

◎=移動等円滑化基準に基づく整備内容、◇=望ましい整備内容

< 幅広改札口 >

- ◎移動等円滑化された経路に改札口を設ける場合、有効幅 80 cm 以上の拡幅改札口を1か所以上設置する。
- ◇車椅子使用者の動作の余裕を見込み、有効幅 90 cm 以上とすることが望ましい。
- ◇入出場双方向から利用する拡幅改札口の場合は、その内外に車椅子使用者同士がすれ違うことができるスペースを設けることが望ましい。
- ◇有人改札口ではない自動改札機のある改札口に設けることが望ましい。その際、当該改札口は、車椅子使用者の問い合わせ等がある場合に対応できるように有人改札から視認できる位置とする。
- ◇有人改札口を拡幅改札口とする場合には、さらに自動改札機のある改札口のうち1か所以上を拡幅改札口とすることが望ましい。



1. 駅舎

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

(7) 階段

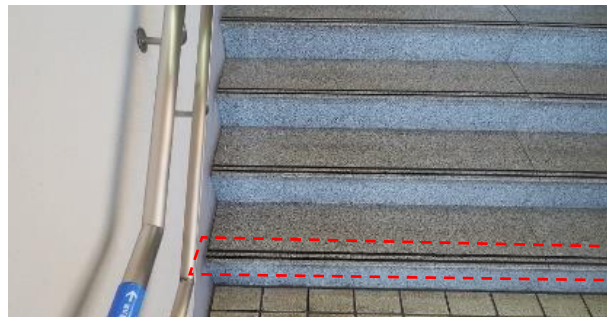
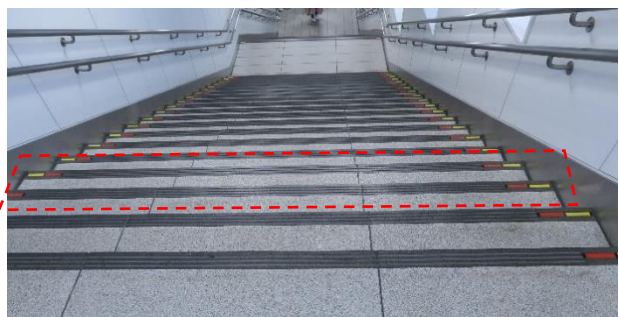
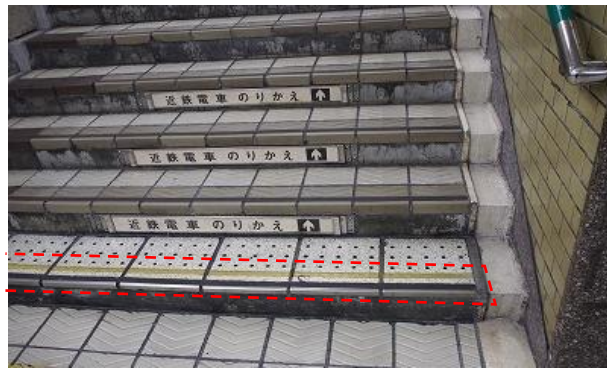
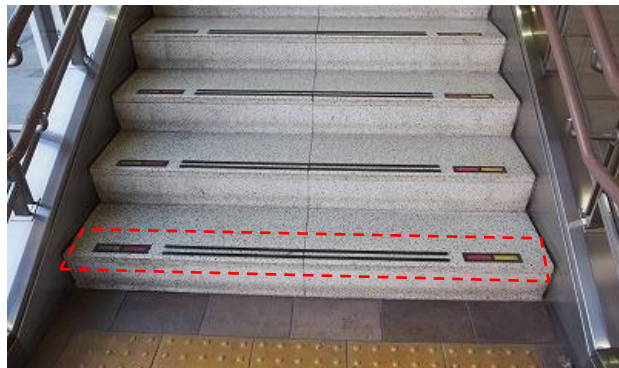
◆階段の手すりに、行先を点字で表示



左上写真: JR難波駅 (JR西日本)
左下写真: 難波駅 (南海)

右上写真: 日本橋駅 (大阪メトロ)
右下写真: 大阪梅田駅 (阪神)

◆踏面端部が容易に識別できるように配慮



左上写真: 我孫子町駅 (JR西日本)
左下写真: 新大阪駅 (JR東海)

右上写真: 谷町九丁目駅 (大阪メトロ)
右下写真: 西九条駅 (阪神)

1. 駅舎

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

(8) ホームにおける列車の案内

◆列車の行先・接近・出発に関する情報を文字及び音案内で検討



左1段目写真:北新地駅(JR 西日本)
左2段目写真:大阪上本町駅(近鉄)
左3段目写真:難波駅(南海)
左4段目写真:野田駅(阪神)

右1段目写真:鶴橋駅(大阪メトロ)
右2段目写真:京橋駅(京阪)
右3段目写真:大阪梅田駅(阪急)
右4段目写真:新大阪駅(JR 東海)

1. 駅舎

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

(9) 車両とホームとの隙間・段差

◆ホーム構造や車両構造について検討

車両とプラットフォームの段差・隙間を縮小するため、ホーム床面を電車側に向けてスロープ状にかさ上げによる段差の解消や、ホーム先端に櫛状のすき間材(ゴム製)を設置し隙間を解消する等の対策を実施。

出典：国土交通省ホームページ

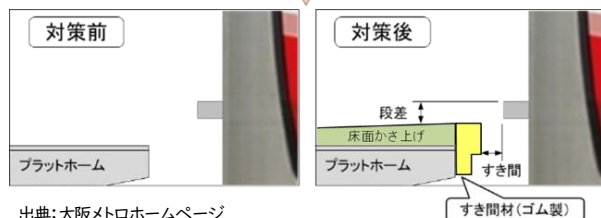


出典：南海電鉄ホームページ



左上写真：大阪メトロ(千日前線)
左下写真：大阪メトロ(御堂筋線)

右上写真：南海(空港線)



出典：大阪メトロホームページ

◆渡り板を配備

出典：南海電鉄ホームページ



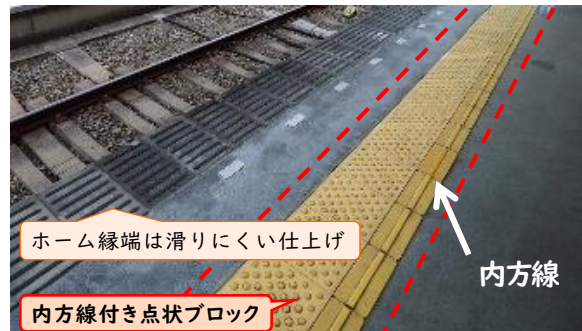
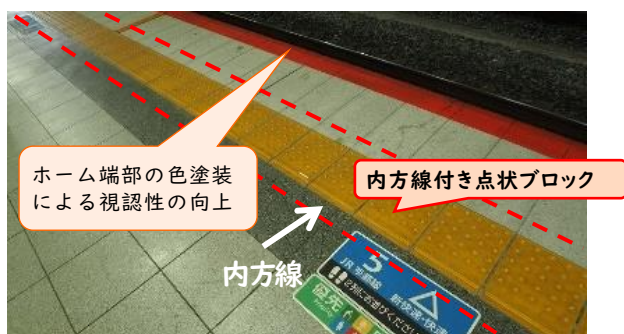
写真：南海

1. 駅舎

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

(10) ホームにおける安全対策

◆ホーム縁端付近に連続して警告ブロックを敷設、線路側とホーム内側の区別が出来るよう工夫



左上写真:新大阪駅(JR 西日本)
左下写真:難波駅(南海)

右上写真:鶴橋駅(近鉄)
右下写真:野田駅(阪神)

◆線路側外のプラットホーム両端に警告ブロックを敷設



左上写真:南森町駅(大阪メトロ)
左下写真:野田駅(阪神)

右上写真:新今宮駅(南海)
右下写真:新大阪駅(JR 東海)

1. 駅舎

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

(11) トイレ

◆車いす対応トイレの設置、今後設置するトイレの多機能化



左上写真:なんば駅(大阪メトロ)
左下写真:大阪梅田駅(阪急)

右上写真:新今宮駅(南海)
右下写真:西九条駅(阪神)